

みどりをさがしにでかけよう

No.

3

2017 / 12 |

ちが咲き

貴重な生きものを後世へ
赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区



赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区は、県の準絶滅危惧種であるカトリヤンマや、湘南地方では他に生育地が知られていないヒメシロネなど、多様な生きものの貴重な生息・生育空間になっています。

現在、土地所有者や保全活動を行う市民ボランティアの方々のご協力を得ながら、「赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区保全管理計画」に基づいて、湿地の維持再生、生きものに配慮した草刈りや外来種の除去など、同地区の自然環境をより良い状態に保つための保全作業を行っています。今号では、赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区の魅力をご紹介します。

茅ヶ崎市 都市部景観みどり課・環境部環境政策課・建設部公園緑地課

作成協力：慶應義塾大学 一ノ瀬研究会 - Greeture Project -

赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区の魅力

①絶滅危惧種等が多数確認されている

湘南地方で唯一確認されているヒメシロネをはじめ、カトリヤンマやニホンアカガエル等の絶滅が危惧される種も多数生息・生育しています。

②閉鎖的な環境

敷地の大部分は、ゴルフ場用地ですが、ゴルフ場の配慮により改変を受けずに保全されてきました。また、人が容易に入れない閉鎖的環境であるため、人為的影響が少なく、良好な自然環境が現在まで残されています。

どこにあるの？

赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区は、茅ヶ崎市の北東部に位置し、西は湘南カントリークラブ、東は北部の主要市道である赤羽根通り（市道 0110 号線）に挟まれた場所に位置し、赤羽根字十一図、十三図、十四図、十五図にまたがる南北に長い谷戸と周辺の緑地で、約 2.9ha です。



赤羽根字十三図

※通常時の立ち入りは一部の区域に限られていますが、地区内での観察会などを実施しています。

③小面積に多様な環境

小面積の中に、細流、湿地、草地、樹林が見られ、複合的な環境が形成されています。

④市内唯一の引地川水系

藤沢市を流れる引地川の支流である小糸川の源流の1つです。下流は暗渠等になっていますが、多様な環境が残る赤羽根字十三図周辺は流域でも貴重な場所となっています。

⑤生物多様性の高さ、生態系

ネットワークの核（コアとなる地域）

西は、湘南カントリークラブ及び長谷、南は赤羽根斜面林と連続したみどりが広がっており、生きものの供給源などとして貴重な自然環境の1つとなっています。

特別緑地保全地区とは？

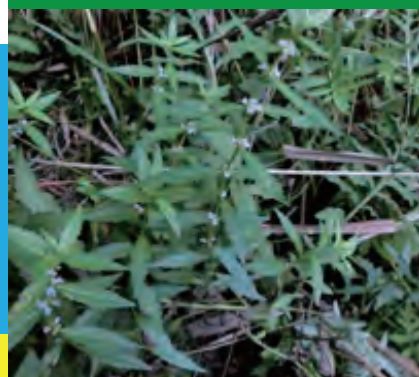
特別緑地保全地区は、都市緑地法に規定されている制度で、市街化の無秩序な拡大の防止に資する緑地、動植物の生育・生息地となる緑地などの保全を図ることを目的とする制度です。

赤羽根字十三図の動植物



ツリガネニンジン

下を向いた鐘形の淡紫色の花を咲かせます。



ヒメシロネ

夏の終わりに秋にかけて、小さな白い花をつけます。



カシラダカ

体長約 15 cm ほど。後頭部に短い冠羽があります。



カトリヤンマ

湿地に生息するヤンマの一種で、市内でも分布が限定される種類です。

⚠ 外来種について

固有の動植物が数多く生息する赤羽根字十三図ですが、外来種の侵入が見られ、駆除作業を行っています。

市道 6185 線

「道路沿いに貴重な自然がある」と聞けば、驚かれる方も多いのではないのでしょうか。赤羽根字十三図を南北に貫く市道 6185 号線は未舗装の道路で、市街地では考えられないような豊かな自然が残っています。植物では、市内で見ることの少なくなってしまったツリガネニンジン、ワレモコウの花が見られ、分布の局限されるコウボウ、ヤマナラシ、ヒトツバハギなども生育しています。

この道の特徴づけるのは、何と言っても鳴く虫の種類・数の多さです。道脇にまとまった草むらが残されているためにクツワムシの個体数が多く、市内最大の生息地になっています。夏の終わりに秋にかけては、スズムシ、カンタン、ウマオイ類など多種多様な鳴き声を聞くことができます。これらの動植物が見られるのは、湘南カントリークラブのご厚意で行われている草の刈り方に秘密があります。希少な植物は刈り残し、刈る草も高刈りとする選択的管理になっているので、動植物の生息・生育が保証されているのです。

保全管理作業について

市内ではここ以外ではほとんど確認できない生物、自然環境評価調査における指標種をはじめとした多様な種の生息・生育環境を確保することを目的として、大きく3つのゾーンに分けて、それぞれに適した方法で保全作業を進めています。保全作業は、有志の市民の方々とともに進めています。

< 源流・水源涵養林ゾーン >

多様な生態系を維持するための水を育む重要なエリアです。

< 湿地・樹林ゾーン >

谷戸地形で流水、湿地、草地、樹林の多様な環境が見られ、本地区のコアとなる環境が見られるエリアです。

< 草地ゾーン >

帯状に伸びる草地環境で、乾性草地に依存する動植物が多く確認されています。

参加者の声

赤羽根字十三図の魅力とは？



自然環境は変化するものであり、その中から好ましくない変化を峻別し、修復可能な範囲の攪乱を試みるのが生物多様性の保全の要点と教わっています。この視点から、赤羽根字十三図の保全に3つの魅力を感じて参加しています。自然環境の変化が少しの移動で感じ取れるコンパクトな環境でありながら、生物多様性が高いこと。専門家が参加しているので、誰でもその場で正確な知識を学習できること。年4回の作業日という高い挑戦目標が与えられていること。4日という目標を達成するには、能力向上の刺激になり、また、保全者の能力向上と関係者の協働が不可欠となります。多様な市民が参加する、生物多様性保全の質・量の両面で「道場」になればと期待しています。

《お知らせ》

平成30年2月上旬 茅ヶ崎市役所にて『河川・海域の環境保全について』をテーマにしたセミナーを開催します。詳しくは広報ちがさき1月1日号でご確認ください。